

平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

—学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築—

- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) 学修自己評価システム
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

履修・学習上の問題点

— 学生自身が**学習・教育目標の達成度**を意識せず、卒業要件を満たすことだけを考えて履修

→ 目的意識が低い

- 中学・高校を通じて受験のため、学習塾などで与えられたことだけを勉強して来たことの弊害？

— 指導教員制度も十分に機能しているとは言い難い

- 何か問題があっても学生から指導教員のもとに相談に来ない
- 引きこもり学生が増えているが指導教員が**気づかない**
- 指導教員と学年担当教員、学生相談員、カウンセラーとの役割分担が学生たちに分かりにくい

対応策

— 学習成果達成度の自己評価を行い、**学習・教育目標達成を考慮した科目の選択**を促す

— 学習に対する**自己管理能力の涵養**をはかり、学生自身の学修意識を高める

→ 学習成果自己評価シートを導入

取組の経緯

- 平成15年度より情報工学部でこの取組が始まる
- 平成16年度には情報工学部の5学科すべてが学習成果自己評価シートを導入
- 平成18年度より工学部に導入され、全学教育委員会のもと、全学的な取組が始まる
- 平成19年度より、これまでの経験をもとに学修自己評価システムを開発し、3年計画で学修意識改革を推進
 - 1年目(平成19年度)
 - 電子ポートフォリオ基本システムについて調査・検討
 - 学修自己評価システムの基本仕様を検討し、システムを構築
 - 2年目(平成20年度)
 - 情報工学部に試験導入
 - 学生の利用状況や効果について調査・検討し、各種機能を追加
 - 学習・履修/課外活動の成果物を記録する電子ポートフォリオシステムへ拡張
 - 3年目(平成21年度)
 - 全学に水平展開するとともに、学外への普及を図る
 - 履修計画やキャリア形成なども支援できるシステムへ発展

平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

—学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築—

- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) 学修自己評価システム
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

学習成果自己評価シート

学習成果自己評価シート

年度 17年度6月20日現在

1. 単位取得状況の確認

各学期の取得単位を記入し、これまで取得した単位と合わせて学習状況を確認する

達成度の点検
各学期の達成状況を各自が視覚的に確認

科目系統
レーダーチャート

学習・教育目標
レーダーチャート

2. 達成度の点検

「科目系統」別の達成度点検

「学習・教育目標」の達成度点検

3. 学習状況

履修計画、学習成果、学習への取り組みを自己評価

自己採点欄

自己評価記入欄

その理由も記述

良かった点、反省点、次学期への抱負

学習成果自己評価シート(つづき)

3. 学習状況の探点

自己採点欄

自己評価記入欄

その理由も記述

良かった点、反省点、次学期への抱負

4. 評価の総括

良かった点、反省点、次学期への抱負

学習成果自己評価シート・サンプル

学習成果自己評価シート

学年: 1年 学期: 1学期 学号: 1234567890

記入年月日: 19. 7. 7 指導教員氏名: 山田 太郎

1. 単位取得状況の把握

科目	取得状況		履修状況		成績	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択
人文社会科学	4	9.00	5	1.2	2	3.00
理工系	2	4.00	1	9.00	1	3.00
総合	6	9.00	5	3.56	3	5.00

2. 達成度の把握

3. 学習状況の把握

4. 評価の総括

学習成果自己評価シート・サンプル(つづき)

3. 学習状況の把握

4. 評価の総括

項目	評価	理由
履修科目の「履修計画と履修状況」について	3	履修の目標や計画、内容などを踏まえて履修計画を立てた
履修した履修科目の「学習の成果」について	3	履修の内容が十分に理解できた
履修した履修科目に対する「学習への取り組み」について	3	履修内容に積極的に取り組むことができた

5. 履修科目の「履修計画と履修状況」について

6. 履修した履修科目の「学習の成果」について

7. 履修した履修科目に対する「学習への取り組み」について

学習成果自己評価シート・サンプル(つづき)

3. 学習状況の振り返り		応用情報技術1-1グループ		
今期7学期の「履修計画と履修状況」と「学習成果」、「学習への取り組み方」について自己評価せよ。下記の「評価項目」のそれぞれについて、1:全くそう思わない、2:あまりそう思わない、3:まあそう思う、4:全くそう思う、の4段階で評価し、縦軸結果を横軸結果に入力する。縦軸結果を最終的に記述する。		評価項目	評価結果	
履修計画の「履修計画と履修状況」について	3	授業の履修や計画、履修などを踏まえた履修計画を定めるよう履修計画を立てた	3	可能な限り単位をおさるようにはした
	4	シラバスや科目ホームページ、履修情報システムで提供される情報を参考に履修する科目を選んだ	4	その通りにした
	1	履修申請した履修科目はすべて履修した	1	履修できていないものが多い
	2	授業の履修や計画、履修などに対して、履修した履修科目は役に立った	2	どのように役に立つかがよく分からない
履修した履修科目の「学習の成果」について	3	履修した履修科目の数は、体系的に学習を進めるのに適切だった	3	丁寧良く感じた
	2	授業の理解に必要な学力や知識をこれまでの学習で得ていた	2	得られていたとは思えないため
	2	授業の内容は十分に理解できた	2	理解不足の箇所もあったため
	1	自分が想定していた学習成果に対して見合う成績評価が得られた	1	想定よりかなり悪かったため
履修した履修科目に対する「学習への取り組み方」について	3	授業の内容に興味を持って学ぶことができた	3	興味深いものがあった
	2	授業の履修や計画、履修などに対して十分な学習成果が得られた	2	不十分だと感じた
	3	授業内容を理解するために予習と復習は十分に行った	3	行うようにしていたため
	4	レポートなどの課題は人に頼らず自分の力で解けた	4	分からない所は教えてもらうこともあった
4. 評価の総括	前7学期を振り返り、「履修計画と履修状況」と「学習成果」、「学習への取り組み方」について、良かったと思われることや改善が必要だとと思われることを具体的に書き出す。前学期に向けての学習や授業、前7学期の授業から気づいたことなどを最終的に記述する。			
		良かったと思われること	改善しや改善が必要だとと思われること	前学期に向けての勉強
	履修計画の「履修計画と履修状況」について	特に無し	履修状況	110単位を目指す。
	履修した履修科目の「学習の成果」について	履修している科目の点はそこそこ悪くない	自然科学の科目の得点が低い	GPAの平均を上げる
履修した履修科目に対する「学習への取り組み方」について	特に無し	もっと効率的な良い学習法を身に付ける	学習時間を増やす	

学習成果自己評価シート・サンプル(つづき)

3. 学習状況の振り返り		応用情報技術1-1グループ		
今期7学期の「履修計画と履修状況」と「学習成果」、「学習への取り組み方」について自己評価せよ。下記の「評価項目」のそれぞれについて、1:全くそう思わない、2:あまりそう思わない、3:まあそう思う、4:全くそう思う、の4段階で評価し、縦軸結果を横軸結果に入力する。縦軸結果を最終的に記述する。		評価項目	評価結果	
履修計画の「履修計画と履修状況」について	3	授業の履修や計画、履修などを踏まえた履修計画を定めるよう履修計画を立てた	3	計画を立てて履修。
	4	シラバスや科目ホームページ、履修情報システムで提供される情報を参考に履修する科目を選んだ	4	あまり見ていない
	1	履修申請した履修科目はすべて履修した	1	2教科単位を落とした
	2	授業の履修や計画、履修などに対して、履修した履修科目は役に立った	2	役に立つと思える
履修した履修科目の「学習の成果」について	3	履修した履修科目の数は、体系的に学習を進めるのに適切だった	3	少し足りなかった
	3	授業の理解に必要な学力や知識をこれまでの学習で得ていた	3	おそくとも思える
	2	授業の内容は十分に理解できた	2	あまりではなかった
	1	自分が想定していた学習成果に対して見合う成績評価が得られた	1	1年の単位が点で足りず単位を落とさなければならなかった
履修した履修科目に対する「学習への取り組み方」について	3	授業の内容に興味を持って学ぶことができた	3	CADや理系工学的に興味がある
	3	授業の履修や計画、履修などに対して十分な学習成果が得られた	3	わからない
	2	授業内容を理解するために予習と復習は十分に行った	2	予習は少しだが復習をしていない
	3	レポートなどの課題は人に頼らず自分の力で解けた	3	基本的に自分の力で解けた
4. 評価の総括	前7学期を振り返り、「履修計画と履修状況」と「学習成果」、「学習への取り組み方」について、良かったと思われることや改善が必要だとと思われることを具体的に書き出す。前学期に向けての学習や授業、前7学期の授業から気づいたことなどを最終的に記述する。			
		良かったと思われること	改善しや改善が必要だとと思われること	前学期に向けての勉強
	履修計画の「履修計画と履修状況」について	なし	なし	計画を立てて履修申請書類
	履修した履修科目の「学習の成果」について	なし	成績が下がった	成績を上げよう
履修した履修科目に対する「学習への取り組み方」について	レポートを3回ほど見た	授業中に寝ることも	授業中に寝ない	

達成度評価シート

学習・教育目標 成績の記録

学習・教育目標ごとの成績を合計

各目標の達成具合を確認

学習・教育目標	達成度	1年				2年				3年				4年				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
(A)情報工学と機械工学の双方の基礎と応用を習得する	1800	170																
(A-1)基礎的学習の達成	660	60																
(A-2)応用学習の達成	1140	110																
(B)情報および化学の基礎	240	240																
(B-1)情報基礎の達成	120	120																
(B-2)化学基礎の達成	120	120																
(C)プログラミングの基礎	140	140																
(C-1)プログラミングの基礎	120	120																
(C-2)応用プログラミング	20	20																

達成度評価シート・サンプル

学習・教育目標とその達成度の評価 (平成18年度入学者)

記入年月日 11.19. 9.27 評価者 〇〇

学習・教育目標	達成度	1年				2年				3年				4年				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
(A)情報工学と機械工学の双方の基礎と応用を習得する	1800	170																
(A-1)基礎的学習の達成	660	60																
(A-2)応用学習の達成	1140	110																
(B)情報および化学の基礎	240	240																
(B-1)情報基礎の達成	120	120																
(B-2)化学基礎の達成	120	120																
(C)プログラミングの基礎	140	140																
(C-1)プログラミングの基礎	120	120																
(C-2)応用プログラミング	20	20																

平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

—学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築—

- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) **学修自己評価システム**
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

「学修自己評価システム」への発展

• 学修自己評価による

- 学修の動機づけ
- 学修意欲の増進
- 学修意識の改革



単位の取得から学修達成度の評価へ

- 学生自身が学習・教育目標の達成度を確認しながら、計画的な履修を図る

- 学習・教育目標の項目ごとに、授業科目群の流れが対応付けられ、修得状況を確認
- シラバス記載の授業の達成目標、授業で身につく能力を確認
- 評価項目に自己採点すると、学習・教育目標ごとに表示

学習・教育目標

対応する授業科目

科目の達成目標

- (A)○○工学と○○工学の基礎を習得する。
- (B)理解力、思考力、……を総合的に養う。
- (C)○○○、○○○……を理解する。
- (D)○○……できる能力を身につける。

	1年		2年		3年
	前期	後期	前期	後期	前期
(A)	科目				
(B)					

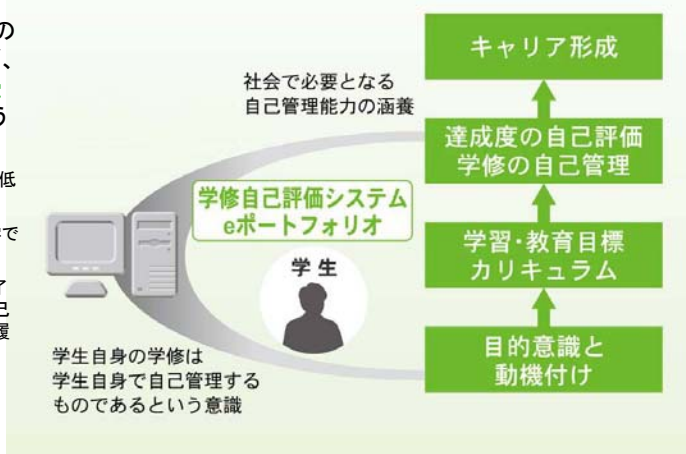
- シラバス記載の授業の達成目標
- (1)……に関する基本的な性質を理解する。
 - (2)……の意味、必要性を理解する。
 - (3)……の考え方と……への応用を理解する。

- 卒業要件を満たすことを主に考えた履修から、学習・教育目標の達成を考慮した履修を促す

学修の自己管理能力の育成

- 従来の大学教育では、一方的な教育の賦与傾向が強いが、本取組は学生の受講意識を変革しようとするもの

- 目的意識と動機が低いまま大学に入学
- 将来の目標や大学で学ぶ目的を認識
- 年2回、学期の終了ごとに達成度を自己評価し、次学期の履修方針を立てる



- 高学年になるまでに、社会で必要となる自己管理能力を涵養し、キャリア形成へとつなげる

教員の連携による組織的指導の推進

- 履修申告期間中の**指導教員との面談**

- 自己評価結果と次学期の履修方針を指導教員に報告
- 高校までの教員による評価を学生に伝えるのは逆、学生の学修管理意識を高める
- 指導教員制の活性化、学生と教員のつながりの強化

- 学習意欲の低下した学生や引きこもり予備軍の**早期発見**

- 問題をかかえる学生の早期発見と、その後のスムーズな対応
- 指導教員の個人差や受けとめ方の差、対応の違いを補う
- 保健センター、学生相談員、カウンセラーとの組織的な連携



- 学修自己評価システムにより、**教員の連携を促進**

- 学生の学修状況などの**教員メモを残す**
- 指導教員、学年担当、学務委員、学科長、学生相談員、カウンセラーなどの学生指導に関わる**教員間で情報を共有**

学修成果の蓄積によるキャリア形成

- 学修自己評価に加え、**学修成果蓄積機能を開発**

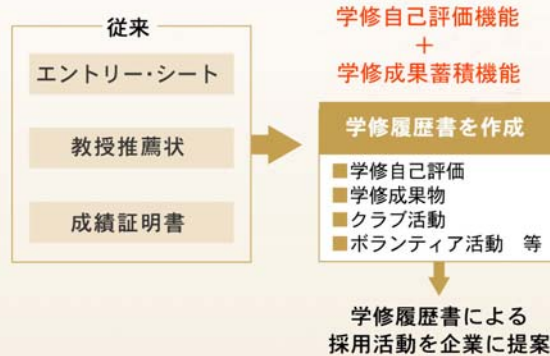
- クラブ活動、ボランティア活動、インターンシップなどの成果や報告
- プレゼンテーション資料、卒業研究月間報告などの学修成果物を記録
- 就職活動の際にはエントリーシート作成にも役立つ

- これまでの就職活動**

- エントリーシートを提出、成績証明書や推薦状を送付

- 今後**

- 自己評価機能と成果蓄積機能により学修履歴書を作成
- これを用いた採用を企業に提案する



検討された課題

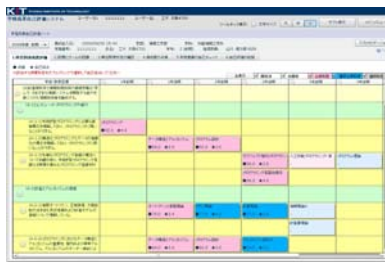
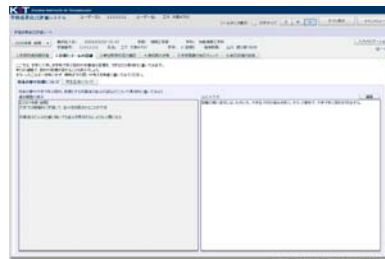
- **自己評価の取組を学生に促す仕組み**
 - 取組方に温度差がある(問題のある学生にこそ必要だが)
 - 入力の簡素化、自己評価結果の視覚化
 - メリットや活用方法が不明確(自己評価してそしてどうするの?)
 - 自己評価を積極的に行わせる仕組みや機能
 - 活用方法の啓蒙や提示が必要(メリットや活用方法の明確化)
- **問題学生の発見とその指導**
 - 指導教員制度の活性化
 - 指導教員と学生のインターフェイスツール
 - メンタルヘルスケアの視点
 - 学生相談員やカウンセラーとの連携(集団指導体制の支援)
 - 集団指導における学生情報の共有(成績だけでなく学習状況や意識など)
- **効果的な活用方法**
 - 学修履歴として蓄積
 - ポートフォリオとして、就職活動やキャリア形成などへの活用
 - 学修成果の自己評価から発展する、意識改革
 - 学修の過程における自己の状況を意識させる仕組みや、効果的な達成度評価方法
 - 次学期の履修計画の立案を支援(次へと繋がる機能)
 - 意識改革に繋がる機能やその評価(意識改革の定量的な評価)

学修自己評価システムの機能

- **教務情報システムから成績データを取得**
 - 紙シート方式に比べ学生の**負担の軽減**
- **学習・教育目標の達成度などを自動評価**
 - 学科の実情に合わせて多様な評価指標で**達成度を視覚化**
- **成績データを含む半期ごとの学習記録は、ポートフォリオの一部として4年間蓄積**
 - 学習成果とその過程を記録(学修履歴書)
- **学修成果蓄積機能**
 - 学習・履修活動および課外活動の成果物を記録
- **学生と指導教員が随時閲覧可能**
 - 学生指導の機動性の向上
- **学生相談員やカウンセラーも閲覧可能**
 - メンタルヘルスマonitoring(学生カルテ)、教員連携機能
- **他のシステムとの連動、インターフェイス**
 - 学修アクティビティチェック機能、キャリア形成機能
 - 教務情報システム、出席システム、図書館システム、授業評価

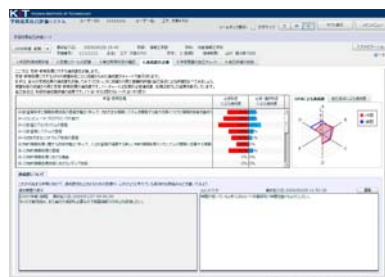
学修自己評価システム(1)

- **目標とゴールの認識**
 - 学修意欲の根源である、将来の目標や大学で学ぶ目的を意識させる(中長期の計画性)
 - 生活・学修における学生としてのあり方の再認識(より良い学生生活を送る意識)
- **科目別達成度評価**
 - 学習・教育目標と授業科目との関係がわかる(学習・教育目標の周知効果)
 - 履修科目の成績および自己採点の結果を表示(客観評価と主観評価)
 - 科目ごとの自己採点入力画面へのエントリー
 - 人間科学科学系科目の達成度評価



学修自己評価システム(2)

- **自己採点入力**
 - シラバス記載の授業の達成目標について、自己採点
 - 教員の成績評価と対比して表示され、達成目標レベルと到達度を再確認できる
- **達成度の点検**
 - 学習・教育目標の達成度を、必須達成度(必修科目対応)と加点達成度(必修選択、選択科目)に分けて視覚化
 - その他、自己採点結果、科目系統別など、学科の実情に合わせた評価指標に基づく達成度をレーダーチャートで視覚化が可能



学修自己評価システム(2)

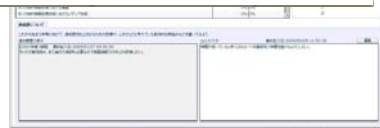
自己採点入力

それぞれの授業科目に対して1～5段階で自己採点してください。(1:全くそうは思わない～5:全くそう思う)

授業科目	成績	評価項目	自己採点
データ構造とアルゴ	69	構造化プログラミングの概念を理解し、プログラムの作成ができる。	3
		抽象データ型の概念を理解する。	4
		基本的なデータ構造とそれを用いたアルゴリズムについて理解する。	2
計算機システム I	95	計算機の基本的な仕組みと動作原理を理解する。	5
		計算機における情報表現について理解する。	1
		機械語で簡単なプログラムを記述できる。	5
計算機システム II	84	基本的機能を備えた実際の計算機を操作して簡単なプログラムを実行できる。	5
		アセンブリ言語によるプログラム作成方法を理解する。	4
		アセンブリ言語のプログラム制御構造を理解する。	4
プログラム設計	62	アセンブリ言語によるデータ構造の操作方法を理解する。	3
		アセンブリ言語の文法を理解し、アセンブラとリンカとローダの仕組みを理解する。	5
		計算機の入出力と割込みについて、基本的な仕組みと動作原理を理解する。	5
プログラム設計	62	基本的データ構造を理解し、活用することができる。	3
		分割統治法や動的計画法の概念を理解し、それに基づいたプログラム設計ができる。	3
		形式文法(構文と意味)の基本概念を理解し、処理対象の明確化に活用することができる。	2

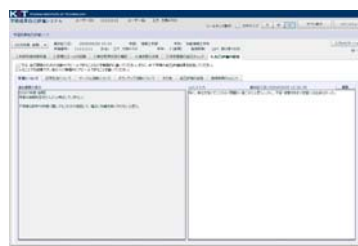
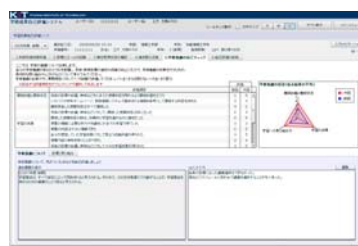
登録 キャンセル

標に基づく達成度をレーダーチャートで視覚化が可能



学修自己評価システム(3)

- **学修意識の自己チェック**
 - 将来への意識や学修の計画性、成果、取組について自己チェック
 - 学修意識としてレーダーチャートで視覚化(意識改革のきっかけ)
 - 意識改革の評価指標のひとつとの位置づけ(学生カルテの一部)
- **自己評価の総括**
 - 学業やサークル活動、ボランティア、日常生活などでの活動を自由に記述
 - 一連の自己評価をもとに学修結果や状況を総括(良い点を意識、悪い点を改善)
 - 指導教員のアドバイス(指導教員と学生とのコミュニケーション)



学修自己評価システム(3)

評価入力

学修意識の診断です。質問項目に対して1～5段階で評価してください。(1:全くそわない～5:全くそう思う)

評価項目	評価
履修計画と履修状況	5
将来の目標や計画、興味などをふまえた授業科目を取れるよう履修計画を立てた	3
シラバスや学科ホームページ、教務情報システムで提供される情報を参考にして履修する科目を決めた	2
履修申告した授業科目はすべて履修した	3
将来の目標や計画、興味などに対して、履修した授業科目は役に立った	5
履修した授業科目の数は、効果的に学習を進めるのに適切だった	3
学習の成果	5
授業の理解に必要な学力や知識をこれまでの学習で得ていた	5
授業の内容は十分に理解できた	4
自分が想定していた学習成果に対して見合う成績評価が得られた	5
授業内容に興味を持つことができた	4
将来の目標や計画、興味などに対して十分な学習成果が得られた	4
学習への取り組み方	4
授業内容を理解するために予習と復習は十分にを行った	4
レポートなどの課題は人に頼らず自分の力で解答した	2
レポートなどの提出物は提出期限を守って提出した	3
授業内容を理解するために授業中は真剣に学習しようと努めた	5
授業内容に関する疑問点などを担当教員に積極的に質問した	

登録 キャンセル

－ 指導教員のアドバイス(指導教員と学生とのコミュニケーション)

自己評価の総括「学業について」

KIT KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

学修成果自己評価システム ユーザーID: ユーザー名: ツールチップ表示 文字サイズ: 大 中 小 表示設定 サマリ表示

学修成果自己評価シート

2009年度 前期 最終記入日: 2009/11/12 13:31 学部: 情報工学部 字科: 学籍番号: 氏名: 学年: (前期) 指導教員: ヘルプ

1.科目別達成度評価 2.目標とゴールの認識 3.単位取得状況の確認 4.達成度の点検 5.学修意識の自己診断 6.自己評価の証言 7.教員向け 8.個別お知らせ

ここでは、自己開発のための活動やアピールできることなどを積極的に書いてください。さらに、終了学期の自己評価結果を総括してください。どんなことでも結構です。他の人に積極的にアピールできることを書いてください。

学業について 日常生活について サークル活動について ボランティア活動について その他 自己評価の総括 指導教員のコメント

過去履歴の表示 最終記入日: 2009/11/12 12:34:03

【2008年度 後期】
真実に取り組むことができていなかった。

【2009年度 前期】
前期のテストは、一人で勉強をして乗り切ったと思う。

【2008年度 前期】
友達と協力をして、しっかりと知識を身に付けていきたい。

友達と一緒に勉強をしたら、ダシってしまうので、それを気をつけていきたい。

- 素直に記述する学生が多い
- 学生の生活態度、サークル活動、アルバイト先なども把握できる

Copyright(c) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

学生と教員間のコミュニケーション

自己評価の総括「総括」

KIT KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
学修成果自己評価システム ユーザーID: ユーザー名:

ツールチップ表示 文字サイズ 表示設定 サマリ表示

学修成果自己評価シート

2009年度 前期 最終記入日: 2009/11/12 13:31 学部: 情報工学部 学科: 情報工学部
学籍番号: 氏名: 学年: (前期) 指導教員:

1.科目別達成度評価 2.目標とゴールの記録 3.単位取得状況の確認 4.達成度の点検 5.学修意欲の自己チェック 6.自己評価の証書 7.教員向け 8.画面印刷/おせ

ここでは、自己開発のための活動やアピールできることなどを積極的に書いてください。さらに、終了学期の自己評価結果を総括してください。どんなことでも結構です。他の人に積極的にアピールできることを書いてください。

学期について 日常生活について サークル活動について ボランティア活動について その他 自己評価の証書 指導教員のコメント

過去履歴の表示

【2008年度 後期】
彼女が欲しいw

【2008年度 前期】
調子に乗りやすい性格なので、調子に乗らないように気を付けたい。
後、大人になりたい。

コメント表示 最終記入日: 2009/11/12 13:31:17

【2009 後期】
彼女が出来ましたw

去年の今の自分よりは、大人になった気がします。

けど、まだまだ自分に足りないものがたくさんあるので、そこを友達の良いところ勉強ところを見て
反面教師として、日々新しい自分に出会えるようにしていきたいです。

Copyright(c) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

教員の利用 (対象学生の選択)

KIT KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
学修成果自己評価システム ユーザーID: ユーザー名: メインメニュー

学修成果自己評価 学生一覧

クイック検索: 【検索モード】最新表示

学籍番号: 学年: 対象年度: 年 シート入力: 条件クリア

氏名: 学部・学科:

照会したいデータを選択してダブルクリックで新規ウィンドウが開きます。 1 / 1

シート入力	学籍番号	氏名	学年	対象年度	学部・学科	指導教員	最終記入日	総括状況
<input type="radio"/>			4	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2010/01/14 17:35:42	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		-	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>			4	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		-	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>			4	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		-	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>			4	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		-	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			4	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/12/15 11:46:08	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		-	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/24 14:21:24	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/24 22:40:11	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/24 14:58:44	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			3	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/19 16:58:23	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			2	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/30 14:56:15	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>			2	2009年度 前期	情報工学部 電子情報工学科		2009/11/24 11:11:52	<input type="checkbox"/>

シート入力のステータス: 入力済 未入力 総括状況のステータス: 総括していない 総括済

学籍番号: 学年: 対象年度: 学部・学科: 最終記入日:

氏名: 指導教員: 総括状況:

Copyright(c) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

指導教員のコメント

- 各学生について教員からのコメントを記入

学修成果自己評価システム ユーザーID [] ユーザー名 [] ツールチップ表示 文字サイズ [大] [中] [小] 表示設定 サマリ表示

学修成果自己評価シート

2009年度 前期 最終記入日:2010/01/14 17:35 学部:情報工学部 学科:電子情報工学科
学籍番号 [] 氏名 [] 学年 (前期) 指導教員 []

1.科目別達成度評価 2.目標とゴールの... 3.単位取得状況の... 4.達成度の点検 5.学修意識の自己... 6.自己評価の総括 7.教員メモ 8.個別お知らせ

ここでは、自己開業のための活動やアピールできることなどを積極的に書いてください。さらに、終了学期の自己評価結果を総括してください。どんなことでも結構です。他の人に積極的にアピールできることを書いてください。

学業について 日常生活について サークル活動について ボランティア活動について その他 自己評価の総括 **指導教員のコメント**

過去履歴の表示 コメント入力 編集

[2008年度 前期]
プログラミングを重点的に勉強したいのですが、確かに、プログラミングの成績は素晴らしいと思います。システムエンジニアになるためには、ハードとソフトの両者を勉強することが必要だと思います。また、高級なシステムエンジニアになるためには、数学も必要だと思いますので、線形代数などにも力を入れて勉強すると良いと思います。
君の場合、電子物理や電子情報工学実験の成績も良いので、ハードへの興味も持ち続け、引き続き勉強すると良いと思います。
総じて、頑張っている様子が伺えます。単位の取り忘れなどが無いよう、今後も頑張って下さい。

Copyright(c) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

教員の利用（教員メモ）

- 教員のみが閲覧可能な情報を記入

学修成果自己評価システム ユーザーID [] ユーザー名 [] ツールチップ表示 文字サイズ [大] [中] [小] 表示設定 サマリ表示

学修成果自己評価シート

2009年度 前期 最終記入日:2010/01/14 17:35 学部:情報工学部 学科:電子情報工学科
学籍番号 [] 氏名 [] 学年 (前期) 指導教員 []

1.科目別達成度評価 2.目標とゴールの... 3.単位取得状況の... 4.達成度の点検 5.学修意識の自己... 6.自己評価の総括 **7.教員メモ** 8.個別お知らせ

「教員メモ」は指導教員が学生の状態について記録します。コメント入力画面で「他の指導教員に変更を渡す」チェックした場合は、本人以外の担当している指導教員のメインメニュー画面にメッセージが通知されます。
*「教員メモ」は指導教員に限り操作・閲覧でき、学生には非公開となります。

新撮作成

登録日時	登録者名	成績	意欲	協調性	生活	社会性	コメント
2010-01-14 17:52:26	[]	-	-	-	-	-	特に問題はありません

Copyright(c) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

教員から学生への連絡

個別お知らせ

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
学修成果自己評価システム ユーザーID: ユーザー名: ツールチップ表示 文字サイズ 大 中 小 表示設定 サマリ表示

学修成果自己評価シート

2009年度 前期 最終記入日: 2009/11/12 13:31 学部: 情報工学部 学科: 情報工学系
学籍番号: 氏名: 学年: (前期) 指導教員: 入力ナビゲーション ヘルプ

1.科目別達成度評価 2.目標とゴールの記録 3.単位取得状況の確認 4.達成度の点検 5.学修意識の自己チェック 6.自己評価の総括 7.教員向け 8.個別お知らせ

「個別お知らせ」は指導教員が学生に対してメッセージを送りたい場合に利用します。
メッセージは該当する学生のメインメニュー画面に通知されます。なお、該当する学生以外には通知されません。
※「個別お知らせ」は指導教員に限り操作・閲覧でき、学生にはメッセージ送信以外には非公開となります。
※操作は、新規作成のみで、削除・変更はできません。

登録日時	登録者ID	登録者名	状態	件名	開封日時

Copyright(C) 2008 Kyushu Institute of Technology. All Rights Reserved.

平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

— 学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築 —

- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) 学修自己評価システム
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

2008年度後期運用に向けての準備

- **公式テスト(2008年5月)**

説明会(5月2日、8日)

各学科:学生5~10名

教員2~3名

チェックシートおよび不具合レポートの提出(5月末)



- **利用マニュアル作成**

学生アルバイトを使って完成
(2008年9月)

システムのリニューアルに伴い改訂版(2009年10月)



実施状況 学部全体

- **これまで3回にわたって実施(1, 2, 3年生)**

– 2008年10月 (2008年度前期分)

ガイダンス、マニュアルの配付

– 2009年 4月 (2008年度後期分)

– 2009年10月 (2009年度前期分)

ガイダンス(1年生)、新システム用マニュアルの配付

5学科の実施状況(1)

	知能情報工学科	電子情報工学科	システム創成 情報工学科
ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> • 学期オリエンテーション時(4, 10月) 	必修科目授業の一部	<ul style="list-style-type: none"> • 必修科目授業の一部 • 修学ガイダンス時(4月)
学生	学期開始1ヶ月間に入力 (学内端末・自宅PC)	学期開始1ヶ月間に入力 (学内端末・自宅PC)	学期開始1ヶ月間に入力 (学内端末・自宅PC)
教員	<ul style="list-style-type: none"> • 1ヶ月後にコメント入力 • 未入力学生に入力を促す 	<ul style="list-style-type: none"> • コメント入力 • 未入力学生の呼び出し、面談 	<ul style="list-style-type: none"> • コメント入力 • メールによる指示 • 面談
学科	<ul style="list-style-type: none"> • 入力期間延長 • 学科教育検討会議で問題学生の対応を検討 	<ul style="list-style-type: none"> • 面談結果を学科教育検討会議に報告し、問題学生への対応を検討 	<ul style="list-style-type: none"> • 履修計画の一環として利用 • 指導困難な場合は、学科として対応

5学科の実施状況(2)

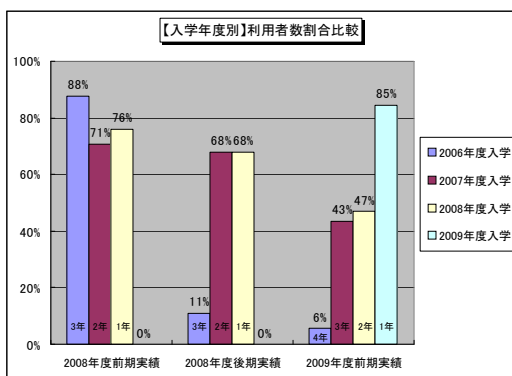
	機械情報工学科	生命情報工学科
ガイダンス	必修科目授業の一部	<ul style="list-style-type: none"> • 必修科目授業 • 卒研中間発表会(9月)
学生	学期開始1ヶ月間に入力 (学内端末・自宅PC)	<ul style="list-style-type: none"> • AV講義室で一斉入力(約1時間)
教員	<ul style="list-style-type: none"> • コメント入力 • 指導学生全員と面談 	<ul style="list-style-type: none"> • コメント入力 • 問題学生と個別面談
学科	<ul style="list-style-type: none"> • 学年ごとに面談結果を取りまとめ、学科教育検討会議で全教員報告、問題学生への対応を検討 	<ul style="list-style-type: none"> • 学科教育検討会議で問題学生の対応を検討

ガイダンスおよび入力風景



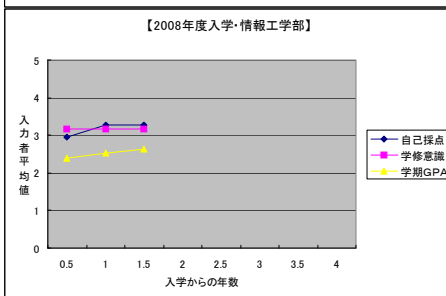
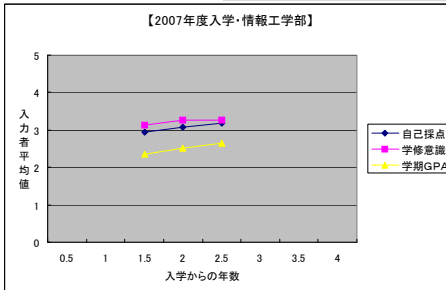
学修自己評価システム利用状況

- 2008年5月、情報工学部公式テスト
 - 実施説明会（5月2日、8日）
 - 参加者 70名
- 2008年後期より利用開始
 - 10月
 - 学期初めに入力、履修相談
 - 1年生は入学直後に目標とゴールの認識を入力
 - 情報工学部全学科の1～3年生
- 2009年後期より工学部も利用開始



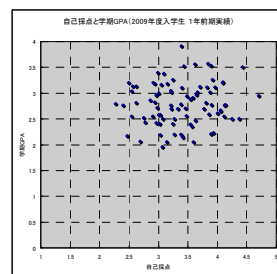
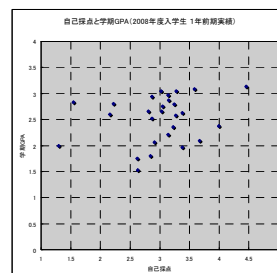
自己採点、学修意識、学期GPAの変化

- 学修自己評価システムの入力値平均
 - いずれも、若干の上昇傾向が見られる
 - 各学科とも似た傾向
 - 継続的なデータ取得が必要



「自己採点」指標について

- 自己採点と学期GPAとの相関
 - 本来、自己採点は学期GPAと強い相関があるはず
 - 実際の自己採点結果は、自らを客観視できる自己分析能力、内省能力の反映
- 授業改善への活用
 - 授業科目ごとの学生の自己採点結果とGPの関係は、一致するのが理想
 - 成績評価基準の見直しや評価項目の適切な設計に役立つ
 - 項目別の自己採点結果の授業改善への活用



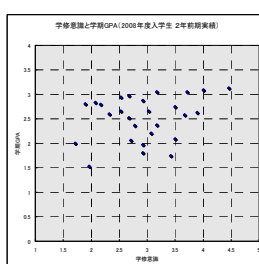
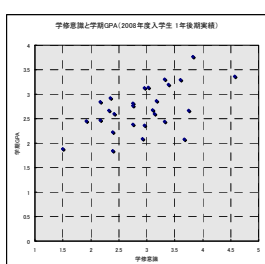
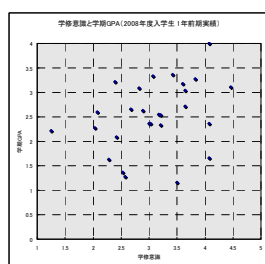
相関係数(自己採点とGPA)

入学年度	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
2006年	—	—	—	—	0.6	0.58
2007年	—	—	0.32	0.08	0.23	—
2008年	0.52	0.27	0.23	—	—	—
2009年	0.11	—	—	—	—	—

「学修意識」指標について

- 学修意識
 - ここでいう学修意識は、学習に取り組む態度、姿勢
 - 学修意識と学期GPAとの間には、ある程度の関連が認められる
- 学修意識の向上を促す
- 学修意識の評価項目が適切かを見直す

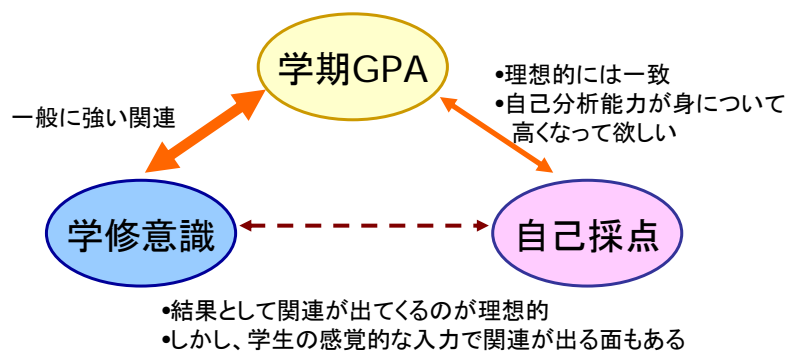
入学年度	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
2006年	—	—	—	—	0.45	0.72
2007年	—	—	0.31	0.29	0.52	—
2008年	0.34	0.55	0.28	—	—	—
2009年	0.22	—	—	—	—	—



「学期GPA」、「学修意識」、「自己採点」

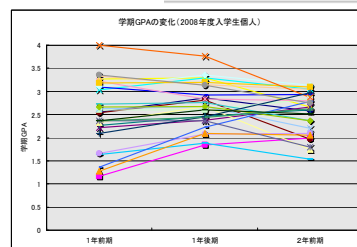
- 学修意識と自己採点
 - 本来は独立な指標
 - 現状では強い関連が認められる
 - 学生の主観や感覚？
- 学修意識と自己採点との相関

入学年度	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
2006年	—	—	—	—	0.18	0.68
2007年	—	—	0.28	0.45	0.56	—
2008年	0.69	0.42	0.76	—	—	—
2009年	0.49	—	—	—	—	—

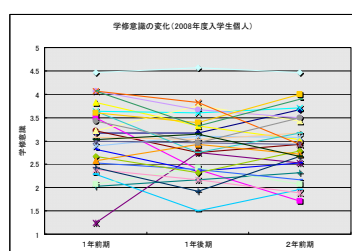


学生指導への利用

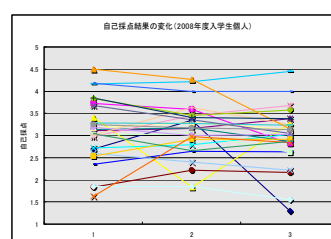
- 学生ごとの変化
 - 相対的な変動は小さい
 - 大きな変化のある学生は要チェック
- 学生指導への利用
 - 状況にあわせた学生指導
 - 問題学生のスクリーニング



学期GPA



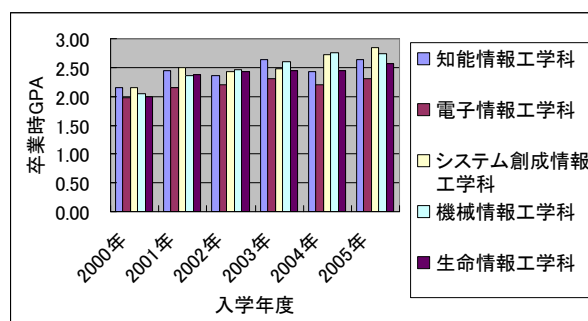
学修意識



自己採点

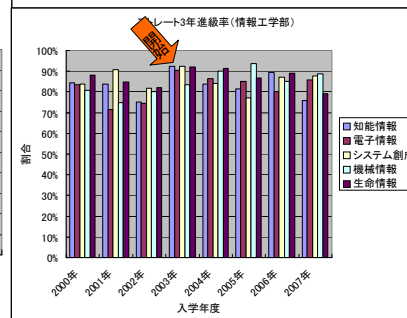
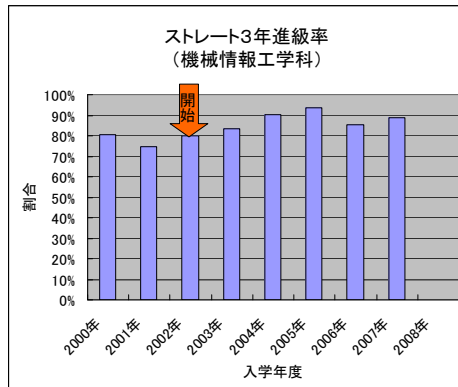
卒業時GPAの推移

- 多少の変化が見られてきている
- GPAが低い原因となっていた、一時の無理な履修申告の習慣を改める効果がある



ストレート3年進級率

- 機械情報工学科2002年入学生より自己評価シート・面談開始(JABEE1期生)
- 他の学科は2003年入学生より



平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

— 学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築 —

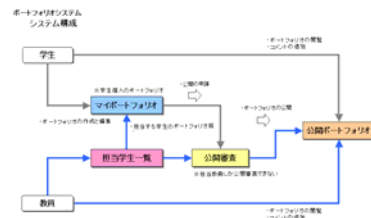
- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) 学修自己評価システム
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

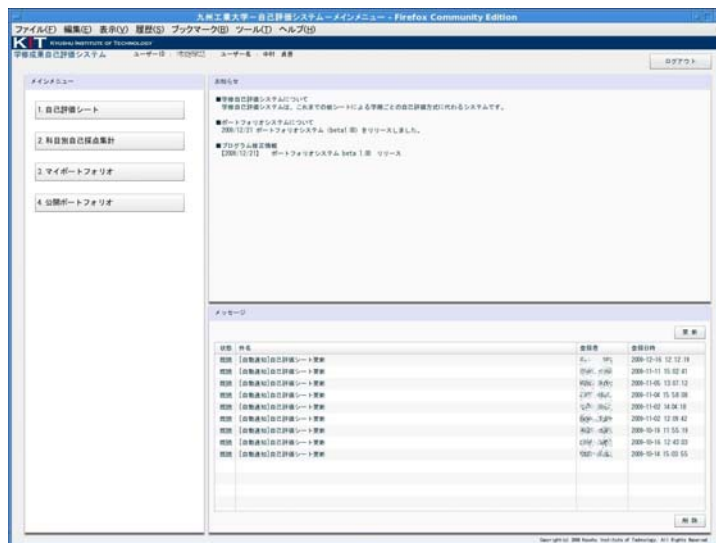
学修成果蓄積機能

- 学生プロフィール
- 学修活動内容と成果物の記録
 - 学習・履修
 - PBL、卒業研究、インターンシップ、学内セミナー、TA
 - 課外活動
 - 部活動、サークル、ボランティア、ベンチャー、自治会
- 更新履歴記録
- 公開／非公開の設定
- 学修履歴書の出力



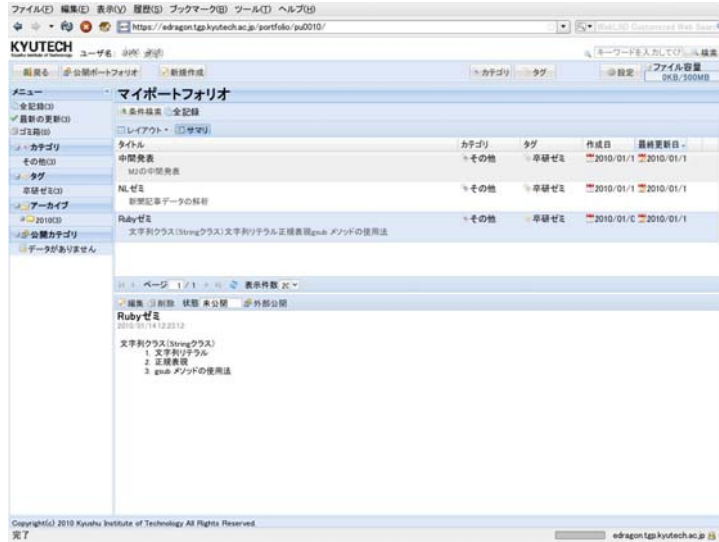
メインメニュー

- 自己評価シートと成果蓄積機能



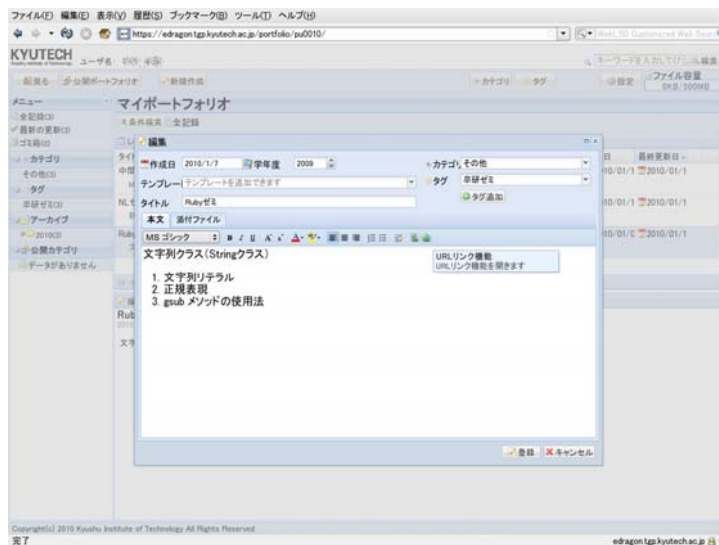
マイポートフォリオ

・一覧表示と検索機能



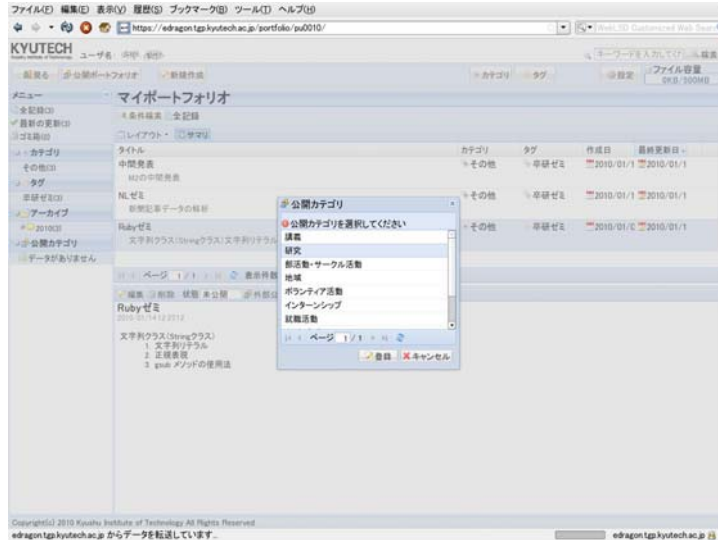
マイポートフォリオ

・編集機能



マイポートフォリオ

・公開申請



公開ポートフォリオ

・各学生が公開申請したポートフォリオの一覧



公開ポートフォリオ

・公開カテゴリ毎の表示



公開ポートフォリオ

・公開カテゴリ毎の表示



公開ポートフォリオ

・公開カテゴリ毎の表示



公開ポートフォリオ

・学科毎の検索



公開ポートフォリオ

・コメント入力によるフィードバック



学修成果蓄積機能

- 2009年12月より稼働
- ◆ ポートフォリオ・コンテスト
 - ◆ 説明会: 平成21年12月21日(月), 24日(木)
 - ◆ 入力締切り: 平成22年1月15日(金)
 - ◆ 表彰式: 平成22年2月19日(金)
 - ◆ 54件の公開ポートフォリオ



公開カテゴリ	件数
部活動・サークル活動	15
人脈・交流	9
講義	4
アルバイト	4
地域	2
就職活動	2
ボランティア活動	2
インターンシップ	1
その他	15



平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」

学生自身の達成度評価による学修意識改革

—学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築—

- (1) はじめに
- (2) 学習成果自己評価シート
- (3) 学修自己評価システム
- (4) システムの運用状況
- (5) 学修成果蓄積機能
- (6) 今後の予定

平成22年6月24日 TKP大手町カンファレンスセンター
CAUA FORUM 2010

九州工業大学 堀江 知義

今後の予定

- **データ分析**
 - 紙シート方式では効果を確認
 - GPA推移、ストレート3年進級率
 - システムによる自動データ取得と分析
 - 学修意識、自己採点、学期GPA
- **FD・授業評価への利用**
 - 科目毎の達成目標自己採点、学修意識自己チェック
- **就職活動への利用**
 - 学修履歴書

今後の予定(続き)

- **テスト版公開**
 - <http://www.tgp.kyutech.ac.jp/>
- **学修自己評価システムの公開**
 - 無償にて公開予定
 - ユーザグループによる運用ノウハウの共有
 - サポート